

第3回佐倉市部活動地域指導事業検討会 会議録（要録）

期 日 令和7年3月28日（金） 開会 午前10時00分
閉会 午前11時30分

会 場 社会福祉センター3階 中会議室

出席委員 青木 和浩委員、押尾 豊幸委員、齊藤 太郎委員、
菊地 龍太委員、志田 宗人委員、緑川 義徳委員、
宮崎 由美子委員、村上 武宏委員、榎本 泰之委員、
舎人 樹央委員、遊佐 憲司委員

オブザーバー 千葉県部活動地域移行総括コーディネーター 濱谷 昌人 氏

傍 聴 人 なし

事務局 指導課 松原 和弘、小林 亜也子、谷野 研
社会教育課 岩橋 一樹
教育総務課 伊藤 浩司

1 開会

【司会】

本日はお忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

定刻となりましたので、只今より第3回佐倉市部活動地域指導事業検討会を開催させていただきます。しばらくの間、進行を務めます指導課の松原と申します。よろしくお願いいたします。まず最初に、配布資料の確認をさせていただきたいと思います。

本日配布している資料は、

- ・ 会議次第
- ・ 第3回協議会資料（オックスベストフィットネス作成資料）
- ・ 広報さくら3月15日号

以上、不足などございませんでしょうか。

なお、本日の会議の議事録を作成するため、会議の内容を録音させていただきますのでご了承ください。また、本日の会議には部活動地域指導事業業務委託を受託した、株式会社オックスベストフィットネスから3名の方にもご参加いただいております。

それでは、本検討会の設置要綱第6条の規定により、会議の議長は会長が行うこととなっておりますので、以後の進行を会長にお願いいたします。

2 協議・報告事項

【議長】

今年度最後の検討会となりますので、本日もどうぞよろしくお願いいたします。

本日は年度末のお忙しい中、またお足元の悪い中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

本日の出席委員は、1名欠席となっておりますが、過半数を超えておりますので、会議は成立いたします。

なお本日の会議につきましては、佐倉市情報公開条例の規定により会議は原則公開であり、事務局より公開することについて、差し支えないとの見解も示されておりますので、公開いたします。

早速ですが、会議を進めさせていただきます。本日の協議報告事項につきましては3件でございまして、①令和6年度の事業のまとめについて ②推進計画について ③令和6年度の成果と課題及び令和7年度の取り組みについて になります。それでは、令和6年度事業のまとめについて、オックスベストフィットネス様から説明をお

願います。

(オークスベストフィットネス説明)

【議長】

ありがとうございました。今の説明について、何かご質問があればお願いします。

【委員】

ご説明ありがとうございました。

障害予防セルフケアセミナーなど、ケガを事前に予防する、万が一ケガをした場合はどうすればいいのか、を学ぶことは重要で、色々やっていただいてありがたく思っています。

こちらのセミナーの開催方法は、現地に赴いて行ったか、場合によってはオンライン形式なども組み合わせたのかお聞かせください。また、今後もこのような取り組みは継続される予定なのか、お聞かせください。

【オークス】

こういったテーピングセミナーとか、セルフケアセミナーの障害予防関係は練習場所で行ったものになります。次にスプリント教室、ダンス、水泳教室などは、ある程度その施設が必要となりますので、我々が用意した会場にお越しいただく形で開催しました。

今後につきましては、来期につきましても同じように生徒や保護者の方にとってプラスになるものを継続できればと思っております。教室系のイベントにつきましても、カスタマイズしながら、かつ、回数を増やせればと思っております。反省点として、こちらの想定ほど人数が集まらなかったということがございますので、開催日や周知の方法など、工夫していきたいと思えます。

【委員】

体験教室の参加対象者と、実際にどのくらい参加されたか教えてください。

【オークス】

クラブ体験ダンス教室につきましては、市内の中学校全 11 校に募集をかけまして、そのうち 3 校から 15 名の参加がありました。次年度以降は、こういった体験教室により多くの方に参加いただけるよう、開催方法などを工夫したいと考えております。また、捕捉になりますが、このダンスイベントの講師を務めていただいた方は、佐倉市の中学校を卒業された方になります。

【委員】

私のほうからは、保険の関係と、月会費の支払いに関して伺います。土日の地域移行クラブに参加する際には、学校部活動とは異なり、スポーツ安全保険に加入されているのかなと思いますが、途中加入など管理が煩雑だと思います。こういった業務は学校が担っているのか、どなたか別の方が担っているのか、どちらでしょうか。また、実際には市内の小中学生だと病院にかかっても 1 回 200 円で済んでしまうので、保険は利用しないという方も多いと思いますが、実態いかがでしょうか。

さらに今後の話になると思いますが、参加費用を取るような場合、徴収方法はどのようになるでしょうか。人によっては現金がいい、別の人は引き落とし、電子マネーで、と色々なことが想定されますが、どのようにしていくお考えでしょうか。

【オックス】

保険については今おっしゃっていただいた通り、1 回 200 円で済んでしまうので保険請求しないこともあります。さらに大きなケガや手術、または物損系に関してはスポーツ安全保険でカバーしなければならないと思っており、全員に加入いただいております。実務として、その加入の管理については弊社社員が担っております。

月会費の徴収については、令和 6 年度も月会費の回収はいただいておりますが、将来を見据えまして月会費の徴収管理をするアプリ開発を進めており、完成すればアプリを通じて会費徴収ができるようになります。今、ご質問にもあったように、あらゆる決済方法があるため、出来るだけ多くの決済方法に対応したものにしたいと考えております。

【委員】

アンケートを拝見して、非常に肯定的なご意見をいただいていて、だいぶ地域移行、地域展開への理解が広がっていると感じました。不満とされたご意見も、前向きなご

意見で、「もっと活動をやってほしい」といったもので、全体的にこの活動を肯定的に捉えていただいているなと感じた次第です。そうした中で、来年度で結構ですので、もう少し子供達からの声を拾えると良いなと思ったので、参考にしていただければと思います。

【会長】

ありがとうございます。他に何かありますか。

【委員】

アンケート結果については、学校別のデータというのがありますか。

【オックス】

本日お示ししたのは、全体のデータになっておりますが、学校ごとのデータは出せますので、出来次第お渡ししたいと思います。

【会長】

他に何かありますか。なければ、次の議題に移ります。推進計画について、事務局から説明をお願いします。

(事務局説明)

【会長】

説明ありがとうございました。何かご質問はありますか。

【委員】

推進計画及び部活動地域展開を進めていく中で、今後課題となるのは指導員の確保の問題があると思います。それについて、どのようにお考えでしょうか。

【事務局】

ありがとうございます。現在11クラブある指導員については、学校にヒアリングを行い、可能な限りニーズに合った指導員を配置するよう工夫をしました。今後この

取組みが拡大していくにあたっては、確保が難しくなってくることもあると思いますが、皆様からお力添えをいただくほか、千葉県が立ちあげている人材バンクを活用するなどして、出来る限り地域の方を配置できるよう取り組んでいきたいと考えております。

【委員】

今、お話があったように指導員の確保は課題になると思います。この取組みは佐倉市だけのものではないので、他市と取り合いになる可能性もあります。そうした時に、指導者への報酬というのはポイントになると思っています。

一方で、今は国や県が主導になってやっているので補助金がありますが、補助がなくなった場合には、この事業は受益者負担で回していくのか、という課題もあります。先ほどのアンケートでも、負担しても 1,000 円か 2,000 円という声が多い中で、市が先読みして予算を確保できるかどうか、という問題もあると思います。前回も申し上げた通り、私としてはあまり受益者負担をかけるというのは問題だと思っていますので、教育委員会の方でも慎重に調査等をしながら検討を進めていただければと思います。

【遊佐委員】

今会長からご意見、受益者負担の話が出たんですけれども、事務局として、いつくらいから負担をしてもらうようにするのか、段階的に考えているのかそれとも、もう一気に運営費を受益者負担で賄う予定なのか、その負担はいくらを検討しているか、また、他の市町村についてはどのような動きなのか、分かる範囲で教えてください。

【事務局】

受益者負担につきましては、いつからということに関しては現時点では区切っておりませんが、他市の状況を見ながら検討を進めているところでございます。

将来的には負担をいただかなければいけないというふうに想定しているところでございますが、参加人数であるとか団体数によって、指導者の数も変わってきます。ご案内している 6 地区に分割するのは、指導者確保の問題、また受益者負担の問題にもかかわってくるので、そういったことも考えた上での地区割りになっております。また、先ほど話題に上がりましたが、報酬額も検討しなければならず、総合的に検討

をする中で、額や時期は慎重に議論、検討を進めていく必要があると考えております。持続可能な形というのを目指して今検討しているというところで回答させていただきます。以上です。

【事務局】

他市の状況について補足説明いたします。柏市の方ではかなり先行的にこの地域移行、地域展開が進んでいて、もう受益者負担が発生しており、現在は2000円の月謝を徴収していると聞いております。

また、印旛郡市内の近隣市町の状況で言いますと、いずれの市町でもゆくゆくは受益者負担を取っていかねばならないというところで準備を進めているようですが、金額の設定については佐倉市同様、検討を重ねているといったところです。

ただ一番早いところで白井市が令和7年6月から受益者負担を始めると聞いています令和8年の4月、ないしは9月には受益者負担を検討していくというようなことを聞いております。金額の設定につきましては、同様に慎重かつ、丁寧に話し合いを進めていると聞いております。以上です。

【会長】

ありがとうございます。受益者負担については、持続可能な事業とするためにも、他市の状況などを調査しながら検討を進めていただければと思います。他に何かありますか。

【委員】

先ほどの資料説明の中で、令和8年の総体が終わった以降に地域で活動をまとめていくというお話がありました。今の小学生なんかは、自分が中学生になった時にどういう所属で大会に参加したり、プレーすることになるのか、イメージできているのかなと。例えば、部活が盛んな地域に学区変更を考えている世帯もあると思います。そういった方々への周知と、令和8年の秋以降の活動はどのようなイメージをされていますか。

【事務局】

まず、大会参加については白井地区〇〇クラブのような名称で参加することを想定

しています。また、今の小学生に対しては昨年10月にリーフレットを配布したほか、まちこみメールでも周知をしているところです。しかし、まだまだ周知は必要性を感じておりますので、出来る限りわかりやすく周知を進めていきたいと考えております。

【委員】

地域クラブの活動指針というページは、運動系の部活動に所属している保護者や生徒は良く見ているかなと思うのですが、文科系の部活動はどうなるのか、どのようにお考えでしょうか。もしも決まっていることがあるのであれば、早めの周知をしていただくことで、私たち教員も心構えができますので、よろしくお願いします。また、仮入部期間の取扱いについても難しいなと思っておりますので、その辺もお聞かせいただければと思います。

【事務局】

吹奏楽については、学校の校歌を演奏するなど学校の文化を担っている所があり、運動部活動と比べると非常に合併が難しいという認識がございます。そうした中でも持続可能な形をつくり、できるだけ早く情報発信をしていきたいと心掛けてまいります。また、仮入部期間のお話がありましたが、平日の部活動はこの後もしばらくは残るものと思いますので、平日の仮入部の取扱いはこれまでの部活動と同じ形で問題ないと思っております。

【会長】

ありがとうございます。他に何かありますか。無いようでしたら、令和6年度の成果と課題及び令和7年度の取り組みについて、佐倉市公式ユーチューブチャンネルで配信された動画をご覧ください。

(動画視聴)

【会長】

今年度の事業内容などがよく分かる形で紹介されていたかと思います。最後に、副会長からご意見をいただければと思います。よろしくお願いします。

【副会長】

今年度最後の会議ということでお疲れさまでした。ご存知だと思いますが、昨年12月から部活動地域移行という名称から地域展開という名称に変わりまして、平たく言えば、もう少しゆっくりと各自治体の実情に応じたペースで進めるべし、という意味合いが込められています。地域展開としたのは、地域と学校で連携をしてやっていきましょうという意図が含まれているとも聞いています。

こうした環境の変化がある中でも、佐倉市は私が携わっている自治体の中でも先行して進んでいる自治体として評価をされています。部活動地域展開は、説明が大事だと言われていますが、未知のことであるため、どんなに説明を尽くしても伝わらないというところがあり、どうなっちゃうんだろう、という不安ばかりが現場にはあります。リーフレットなどは読めば分かるのですが、なかなか読まれないというところもあるので、そうした意味でも、先ほど流れた動画を見ることで理解が進むのかなと思いました。

また、多くの委員からも出ましたが、人材確保という課題は大きく、人材確保に関する広報というのにも必要だなと感じています。なるべく広い人たちが指導に携わることが重要だなと感じているところです。この実証事業には順大の学生も携わったケースもありますが、学生だと卒業を転機に佐倉を離れてしまうということがあります。そうした意味でも地元の人材を登用することが持続可能な運営に繋がるのかなと思います。もちろん、大学生を活用することも有益で、その場合は卒業までの限られた期間で目標を立てて取り組むという形になろうかと思います。

また今後最も大きな課題となるのは、大会参加に関することだと思っています。実はこの問題は教育委員会ではどうしようもできない課題で、中体連の考え方や各種目の試合に対するレギュレーションというものが関わってくるので、それこそ、どういったユニフォームにするのか、合同チームはどういった手続きにするのか、といったことは各種目の考え方で異なってくるため、これから近隣の市町村や県内の中体連の情報をキャッチして、あくまでも子供達にとって不利益がない形で進めるべきと考えます。

最後になりますが、受益者負担については、これはどの市町村も検討を進めていると思います。クラウドファンディングやふるさと納税といった形で公費以外を充てる先行事例もありますので、検討いただければと思います。

少し長くなりましたが、佐倉市はこの取組みにおいても先駆的に進んでいる地域だ

と思いますし、報告を見ても皆さんが大変満足されているというところを見ても、おそらく佐倉の取組みというのは今後色んな市町村の中で紹介されるのではないかなと思っており、引き続き事業を推進いただければと思います。

【会長】

青木副会長、大変貴重なご意見をありがとうございました。事務局においては、本日いただいた様々な意見を汲みながら、事務を着実に進めていただくようお願いします。

それでは、以上を持ちまして本日の会議を終了します。皆様、長時間に渡りありがとうございました。

閉会